平成25年度鳥取県原子力防災訓練(島根原子力発電所対応)訓練内容等一覧表

鳥取県危機管理局原子力安全対策課

		▲ ID . 航空機 . 机晶体友接套喷料	手机の検討	烏				
訓練の特色		●JR・航空機・船舶等多様な避難手段の検証						
		●原子力防災資機材(情報通信機器、放射線測定器)の習熟						
		●避難者の緊急輸送						
訓練	項目	実施場所	訓練内容	備考				
①11月5日(火) 8:30~14:30								
本部等過	軍営訓練	・鳥取県庁(知事)	●災害対策本部会議の運営	第1回10:35~10:55、第2回11:45~12:00				
(初動対応訓練)		・西部総合事務所(副知事) ・衛生環境研究所(EMC) ・島根県原子力防災センター(統轄 監)	●TV会議の実施 (2県6市⇔0FC)	第1回10:20~10:35、第2回11:30~11:45				
08:30~12:00			●リエゾンの派遣					
			●緊急時通信連絡訓練					
		・米子市役所、境港市役所等	●訓練総括	10:00~12:10(TV会議により島根OFCと接続)				
オフサイト	センター訓練	・島根県原子力防災センター(OFC)	●要員派遣	●統轄監、各機能班、鳥取県ブース				
			●設置運営訓練	●機能グループ(総括、広報、住民安全、運営支援班)活動				
08:30	~12:00		●原子力災害合同対策協議会等運営	現地事故対策連絡会議10:20~10:50、原子力災害合同対策協議会11:30~12:00				
E7 4	£ 11 \$ 18=115±		●情報伝達訓練訓練	●電話、FAX、TV会議等				
緊急時モニタ	タリング訓練	・鳥取県庁 ・西部総合事務所	●モニタリング測定情報等の情報伝達訓練	●鳥取県・島根県EMC間との連携、情報共有				
09:00~14:30		・衛生環境研究所(EMC) ・米子・境港市内等	●モニタリング訓練	●モニタリングカー、検体採取及び放射能分析(水道水他)、モニタリングポスト(固定、可搬)による監視				
学校の避難訓練		・各学校等	●通信連絡訓練	●一部学校では、11月10日に屋内退避訓練を実施				
広報・情報	報伝達訓練	・鳥取県庁	●情報伝達訓練(FAX送信)	●本部等運営訓練と連携				
		・関係機関等	●報道提供・放送要請	●報道機関への資料提供・報道要請(原災法10条段階)				
			●独自広報	●とりネット、トリピーメール、とりったー				
②11月10日(日) 8:00~13:00								
住民避難 訓練	バス避難	→スクリーニング会場 (自取県当社学校・光ス末海通町)	●米子市(8:30)、境港市(8:00)の住民避難指 示伝達により、各一時集結所に避難した住民を バスによりスクリーニング会場に搬送(境港市 は船舶による避難と併せて実施)	●住民参加は米子市125名・境港市102名、計227名 ●バスは、米子市・境港市合わせて計11台を予定				
		→JK児縁	●米子市・境港市の住民避難指示伝達により、 各一時集結所に避難した住民を各駅からJR境 線によりスクリーニング会場に搬送	●住民参加は米子市33名・境港市22名、計75名				
	JR避難			●住民乗車駅:境港駅(8:47)、上道駅(8:52)、余子駅(8:55)、河崎口駅 (9:15)。米子駅(9:48着)からはバスで移動				
	船船避難	→竹内岸壁	■児冷巾の住氏避無拍示伝達により、合一吋集	●住民参加は境港市各地区102名				
0 8:0 0 ~ 1 3:0 0				●境港竹内岸壁から、海上自衛隊多用途支援艦「ひうち」又は海上保安庁巡視船				
				「きそ」に乗船する				
			The state of the s	乗船時間9:10~9:55。終了後、バスでスクリーニング会場に移動				

原子力防災研修		・スクリーニング会場	●原子力防災学習(4グループ、各30分)	●避難訓練参加住民の放射線等についての知識・理解の深化
09:30~12:00		(鳥取県消防学校2F大教室)	●展示	●講師は、広島国際大学 保健医療学部 林准教授
災害時要援護者避難訓練	入院患者	・病院		●済生会境港総合病院から西部消防局の救急車で航空自衛隊美保基地に搬送
		→美保基地 →鳥取空港	車による搬送 ●航空機による空路搬送	●C-1型輸送機で鳥取空港まで空路で搬送し、東部消防局の救急車に収容
	在宅要援護者	・一時集結所(米子市・境港市) (→一部、美保基地経由) →スクリーニング会場		●要援護者参加は米子市 2 名・境港市 2 名(誠道・中浜地区)の計 4 名 ●境港市の要援護者は、航空自衛隊美保基地でC-1型輸送機への搭乗訓練を実施 ●一般者に優先してスクリーニングを実施
	社会福祉施設 (高齢者施 設)	・社会福祉法人・医療法人真誠会グ ループ →陸上自衛隊米子駐屯地 →スクリーニング会場	●居室から自衛隊・福祉車両に乗車 ●陸上自衛隊坐子駐車機まで陸路で搬送後、A	●線量の測定、施設内の情報共有、家族への通信連絡、非常持出品の確認 ●模擬入所者3名を陸上自衛隊中型へリコプター(UH-1)により米子駐屯地から スクリーニング会場まで搬送(9:35) ●一般者に優先してスクリーニングを実施
	外国人	・米子市河崎地区 (一時集結所:河崎公民館) →スクリーニング会場	●一時集結所からのバス避難	●米子市河崎地区の住民避難(バス)と併せて実施(10名)
				●鳥取県国際交流財団から通訳を派遣し、避難支援を行う(4名)
	聴覚障がい者 等			●米子市河崎地区の住民避難(バス)と併せて実施(1名)
				●手話通訳者とともに避難を実施(1名)
避難誘導、交通規制等 訓練		・避難ルート等	●緊急交通路確保及び交通検問所設置	●米子IC
			●警戒員の配置	●米子市住民避難バスをパトカーにより先導
.,,	1401		●ヘリテレによる映像伝送	●県警へリによる避難状況の県消防学校への映像伝送
	スクリーニン グ検査及び簡	・スクリーニング会場 (鳥取県消防学校屋内練習場)	●スクリーニング会場の運営 ●避難住民によるスクリーニング検査及び簡易	●避難住民が到着後、逐次実施 (09:30~12:00)
	易除染		除染の体験(4グループ)	
緊急被ばく	安定ヨウ素剤 予防投与	・各一時集結所等	●調剤指示伝達訓練、調剤・配送訓練	●調剤拠点薬局、病院での調剤訓練
医療活動訓 練			●安定ヨウ素剤予防投与訓練	●住民避難訓練と併せて実施(米子市・境港市と連携)
	初期被ばく医 療	· 米子市河崎地区(模擬傷病者自		●陸上自衛隊救急車による傷病者自宅からの初期被ばく医療機関への搬送
		宅) →米子医療センター	●初期被ばく医療機関におけるスクリーニン グ、簡易除染及び治療	●初期被ばく医療機関における処置(09:45~10:30)
県営広域避難所開設訓練		・鳥取商業高校	●居住スペースの設置演習	●居住スペース区画(間仕切り設置)の仮設、導線の確認等〔住民避難なし〕
09:00~14:00		(県営避難所開設予定施設)	●広域避難所運営体制の確認	●広備蓄物資(毛布等)の持込等
広報・情報伝達訓練		・鳥取県庁	●相談窓口の開設、運営	●模擬相談への対応(県庁で電話による模擬相談)
		・関係機関等	●外国人観光客への広報	●県観光事業団所管施設での広報案内の手順確認
			●各道路管理者への情報伝達	
			●道路情報表示版による訓練表示	●県、国土交通省及び警察本部